

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営			
1. 理念の共有			
1 地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らしていくことを支えていくサービスとして、事業所独自の理念を作り上げている。	『地域との交流を大切にし明るく思いやりのある家族の心を持った介護と心で自立を支え、一人一人が望まれる尊厳のある生活を送れるよう努めます。』という理念を職員が考え、日々実現できるよう努力をしています。		
2 理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる。	毎朝、朝礼で当社の経営理念、福祉三原則、ホーム理念、月間目標の唱和を行い理念の実現を目指しております。		
3 家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる。	利用者様、ご家族様、面会者様の目の入るところに理念を掲示しています。町内会行事への参加や地域住民の方々との交流を目的とした行事を開催しております。		
2. 地域との支えあい			
4 隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている。	町内のゴミ拾い、ゴミステーションの清掃などを行い、利用者様と散歩にでかけた際は近所の方々との挨拶や会話の機会を作り交流を深めております。年に一度、夏に前庭で地域交流バーベキューを企画開催し、町内会の方々が入居者様、職員との交流を図っております。		
5 地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている。	2ヶ月に1度町内会の方々、ご家族様、利用者様、地域包括の方と職員を交え、運営推進会議を開催し、当施設の様子をお伝えすると同時に町内会の方々から町内会の活動内容、行事などアドバイスを頂いております。		
6 事業者の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる。	避難訓練を春・秋に定期的実施しており、町内会の方や消防署、消防団の方々にも参加して頂き、地域の防災活動に参加させて頂いております。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
3. 理念を実践するための制度の理解と活用			
7	<p>評価の意義の理解と活用</p> <p>運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる。</p>		
8	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。</p>		
9	<p>市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会を作り、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる。</p>		
10	<p>権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している。</p>		
11	<p>虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがない要注意を払い、防止に努めている。</p>		
4. 理念を実践するための体制			
12	<p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
<p>13 運営に関する利用者意見の反映</p> <p>利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>玄関に『ご意見箱』を設置し、利用者様、ご家族様からのご意見を聞けるようにすると共に、日頃よりご意見を気軽に言えるような環境づくりに努めております。</p>		
<p>14 家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている。</p>	<p>毎月、請求書発送時に預かり金の明細、日常生活の様子をまとめた『みのり通信』と個別のおたよりを同封し報告させて頂いております。体調等に変化があった場合はその都度ご家族様にお伝えしております。</p>		
<p>15 運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情等を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>『ご意見箱』を設置、苦情対応者を設け掲示し、ご家族様の不満や苦情、意見は職員間で話し合いをし、より良い運営に反映できるように取り組んでおります。また、運営推進会議でも報告させて頂いております。</p>		
<p>16 運営に関する職員意見の反映</p> <p>運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>管理者はスタッフ会議、全体会議や通常業務の中で職員との意見交換の機会を設け、運営者に伝達しよりよい運営を目指して日々検討しております。</p>		
<p>17 柔軟な対応に向けた勤務調整</p> <p>利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保する為の話し合いや勤務の調整に努めている。</p>	<p>行事、利用者様の状況の変化、ご家族様の要望に対応できるよう管理者、職員と話しあいを行い勤務時間の調整、職員の確保に努めております。</p>		
<p>18 職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている。</p>	<p>異動、離職がある際は利用者様に心配や不安にならない様な声かけ等の配慮を行なうよう努めております。</p>		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援			
19	<p>職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。</p>		
20	<p>同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワーク作りや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている。</p>		
21	<p>職員のストレス軽減に向けた取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる。</p>		<p>職員相互での親睦会などを開催し、ストレスを軽減する為の環境づくりに取り組んでいます。</p>
22	<p>向上心をもって働き続けるための取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心をもって働けるように努めている。</p>		<p>職員の取り組み、実績、努力を考慮し、個々に向上心を持ち働き続けることができるよう部署の調整、環境づくりに努めています。</p>
. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援			
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応			
23	<p>初期に築く本人との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受け止める努力をしている。</p>		<p>ご本人様との対話を大切にし、アセスメントを作成し課題や問題点を職員間で共有できるように努めています。</p>
24	<p>初期に築く家族との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受け止める努力をしている。</p>		<p>ご家族様との会話を密に行える様、関係作りを大切にし、気軽に来訪して頂ける環境づくりに努めています。ご家族様の来訪時、電話連絡時に利用者様の状況を説明すると共に、ご家族様の要求、不安点などを傾聴し、アセスメントにもご協力いただくことでご家族様と共に利用者様を支援できるよう努めています。</p>

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
25 初期対応の見極めと支援 相談を受けたときに、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。	利用者様、ご家族様から相談を受けたときは、速やかに面談を実施し、職員間に通知し会議を開催することで利用者様、ご家族様が望まれるサービスを提供できるよう取り組んでおります。		
26 馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気に徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している。	サービス利用開始前に面談を行い、入居前にホーム内の見学、実際のケアを体験して頂くことで、利用者様、ご家族様と話し合いを行い馴染みの関係構築に努めております。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援			
27 本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている。	利用者様の日々の生活の中でケアを通じ喜怒哀楽を共感し、支えあうことを大切にしています。また、料理や昔の習慣など利用者様から教えていただくことも多くあります。		
28 本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている。	アセスメントシートの記載にも協力して頂き、ご家族様にも利用者様の支援に参加して頂けるよう取り組んでおります。また、病院受診、外出行事などの際にもご連絡し、状況に応じ同行していただいております。		
29 本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、よりよい関係が築いていけるように支援している。	ご家族様には日々の状況をお伝えする中で、ご家族様の想いを汲み取れるよう、そして利用者様の想いをご家族様にお伝えできるよう間に立ち関係作りに努めております。		
30 馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。	ご家族様、ご友人様等の方々と馴染みの関係を大切にする為、自由に電話連絡ができるように環境づくりに努めております。		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
31	利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている。	利用者様の個々の生活、ライフスタイルを把握し職員が利用者様間の調和となり一人一人に合わせたケアに努めております。		
32	関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている。	契約終了(死去退去含む)された後も、お花や葉書を送ったりなど、ご家族様との関係継続を大切にしております。		
. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント				
1. 一人ひとりの把握				
33	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	利用者様の会話や生活の中での悩み、相談を聞き取り、職員間で話し合い、ご本人様の望まれる生活が送れるように努めております。		
34	これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	入居される前に面談や前任の担当者より情報を頂きご本人様へも確認、了解を得て生活状態の把握に努めております。また、ご家族様からもセンター方式を活用しながらこれまでの生活の様子を伺えるよう取り組んでおります。		
35	暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている。	個別の記録用紙に毎日の生活の様子を詳細に記載し、センター方式を導入し、アセスメントを行い、総合的なケアを提供するよう努めております。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し				
36	チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している。	ご家族様、ご本人様の意見を汲み取り、ケアスタッフ、介護支援専門員、その他、医療関係者と意見を出し、介護計画を作成しております。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
37 現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している。	介護計画は六ヶ月の見直し期間を設定しているが、利用者様の状態変化に即した見直しを日々の申し送り、ミーティング等で話し合い検討しております。		
38 個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。	毎日の個別のケース記録で情報を共有し、お祭りや個別の夕食、お墓参りなど一人ひとりに応じた支援を心掛けております。状況に応じ臨機応変な対応を心がけることで介護計画の見直しに生かしています。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援			
39 事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている。	少人数だからこそ行なえる町内会行事への参加の機会を作り利用者様の支援の一環としております。 医療連携体制を整え、利用者様の負担になる入院、治療を出来るだけ避け、訪問診療を活用しホーム内での治療を可能にしています。また、利用者様が希望される専門外来受診には法人所有の車椅子対応車輦などで送迎を支援しております。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働			
40 地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している。	警察署にはSOSネットワークを提携しており、利用者様の情報を伝え、離館のリスクに備えております。消防署、町内会の方々、消防団の方々には避難訓練を企画から参加して頂き実施しております。また、行事の際には地域の方のボランティアの方々による唄や舞踊、演奏などを利用者様に楽しんでいただく中で地域交流に取り組んでおります。		
41 他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用する為の支援をしている。	地域福祉生活支援センターの支援員の活用をしている利用者様がおり、その方を通じ情報交換を行ったり、アドバイスを頂いております。		
42 地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している。	毎回の運営推進会議に参加して頂き、連携を図ると共に、様々な助言を頂いております。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
43 かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。	協力医師の定期訪問診療は月に2回であるが利用者様の状況に応じ適宜往診体制ができています。毎週看護師の訪問があり、日々の細かな情報伝達が行なうことで、緊急時には24時間対応で応じていただいております。又、利用者様の希望される協力病院とも良好な関係を構築しております。		
44 認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している。	協力機関として認知症専門のクリニックの医師と連携を築き、安心して受診、相談できる環境であり、情報交換、助言を頂いております。		
45 看護職との協働 利用者をよく知る看護職あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている。	毎週、往診訪問されるクリニックの看護師、医療連携を図っている訪問看護ステーションの看護師と連携し、毎日の生活の中で気付いた点を報告、相談しすばやい対応に努めております。		
46 早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している。	利用者様が入院した際にはお見舞いに伺いご本人様に安心していただけるよう伝えると共に、ご家族様や医師、看護師、ソーシャルワーカーと情報交換し、早期退院に向け取り組んでおります。		
47 重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している。	当施設での重度化見取りに関する対応の指針を整備し、利用者様、ご家族様に説明し同意を頂いております。ご家族様には利用者様の状態変化をきめ細かく報告し、段階に応じて医療機関と相談し方針の共有を図っております。		
48 重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている。	当施設において「できること・できないこと」を明確にご家族様に説明しご理解を頂き、関係医療機関と連携を密に図り、今後の状況変に対応できるよう取り組んでおります。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
49 住替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居宅へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住替えによるダメージを防ぐことに努めている。	関係者、ご家族様の意向に配慮し十分な話し合いや除法交換を行い、利用者様に負担がかからない様にサポートしております。		
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 1. その人らしい暮らしの支援 (1) 一人ひとりの尊重			
50 プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取扱いをしていない。	個別の対応を重視し、記録記載時には個人情報が出ないように十分配慮しております。		
51 利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている。	利用者様に合わせた選択の自由、自己決定をできるような声かけ、環境づくりに努めております。		
52 日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	一人ひとりの生活に合わせた個別の空間や時間を配慮し、住みよい環境で過ごしていただけるように支援しております。		
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援			
53 身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている。	訪問理美容を望まれる方の利用、望まれる店への利用、ご家族様によるカットの希望を望まれた場合、要求に応じられるスタッフ、ご家族様に協力して頂き、努めております。また、希望される場合は一緒に店舗に同行し洋服の買い物を楽しんでいた様支援しております。		
54 食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者職員がその人に合わせて、一緒に準備や食事、片付けをしている。	食事の形態、時間、個別にあった方法で提供し、ホーム中庭の畑で収穫した野菜を食事に取り入れ、楽しんでいただいております。また、出前や外食なども取り入れ食事を楽しみにして頂けるよう支援しております。個別に今できる事を大切に声かけをしながら食事の準備、盛り付け、片付けなどをして頂けるよう配慮しております。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
55 本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、タバコ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している。	一人ひとりの好みに合わせた温かい物、冷たい物、食べたい物の種類を揃え、一緒に買い物に行き選んで頂く事で食事を楽しんでいただいております。		
56 気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している。	排泄のパターンを把握し、極力トイレで排泄して頂けるように支援しております。また、排泄が間に合わなくても不快な想いをされないよう、尊厳を大切にしたケアを心掛けております。		
57 入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している。	一人ひとりの入浴したい時間帯、曜日の希望を伺い、その日の健康状態に合わせて、気持ちよく入浴できるように努めております。		
58 安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している。	不眠がちな入居者様には内面的に寄り添い、生活リズムの見直し、調整を一緒に取り組み、安らぐ飲み物、香りなどを試し、支援しております。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援			
59 役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている。	花の水遣り、畑の手入れ、牛乳瓶の片付け、おしぼりの用意、御盆拭きなど一人ひとりの能力、生活歴などを考慮し楽しみながら行える様支援しております。また、利用者様の状態に応じ散歩やドライブ、お買い物などで気分転換ができるよう対応しております。		
60 お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。	利用者様の要望、希望を取りいれ、一緒に買い物へ言ったり、お金を使える場を提供し活力になるよう支援しております。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
61 日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している。	玄関は開放しており散歩や買い物以外にも当日の状況を見て外出しています。地域のお祭りや季節を感じられるよう行事を企画し交流が深められるよう支援しております。		
62 普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している。	利用者様が希望される場所にご家族と相談し核を立てております。個別に対応しながらも他の利用者様と共に外出できるよう支援しております。		
63 電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している。	電話をいつでもかけられるよう対応しております。手紙を書けるような環境や遊具など用意し代筆が必要な場合はご本人様見守りの下対応しております。		
64 家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している。	日中、ご家族様、知人、ご友人などいつでも訪問でき、安心して居室でお話しして頂けるよう環境づくりを心掛けております。		
(4) 安心と安全を支える支援			
65 身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	運営者、及び全ての職員が身体拘束をしないケアを目指し、日々取り組んでおります。		
66 鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる。	19時30分から6時までは防犯上の理由から施錠しております。利用者様の不安感や閉塞感を取り除けるよう配慮し、自由に出入りできるよう支援しております。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
67 利用者の安全確認 職員は、プライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している。	職員が一人ひとりの様子を把握できるようちょっとしたことも見逃さず申し送り、情報の共有をはかりながら安全に配慮しております。		
68 注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている。	一人ひとりの能力を把握し、状況に応じ対応しております。縫い針、刃物などを使用される場合は十分に注意見守りを行い、火気のみ職員が管理しております。		
69 事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐ為の知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる。	担当職員が中心となり、他職員との意見交換を行い事故防止が行える様万全の注意を図っております。避難訓練を年2回開催し、防災の意識を常に持てるよう取り組んでおります。		
70 急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている。	研修等に参加し応急手当の確認をし、いざと言う時に備え対応できるよう訓練を行なっております。		
71 災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている。	年2回併設施設と合同で消防署、町内会の協力を得て消化、避難訓練を実施しております。その都度、設定状況を変更し、あらゆる災害に対応できるよう努めております。		
72 リスク対応に関する家族との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている。	一人ひとりに起こり得るリスクをご家族様に説明し、その人らしい暮らしを大切にしながら対応策を話し合っております。		
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援			

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
73 体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気づいた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている。	日常の状態を肌に触れたり会話や声かけにより様子観察を行い、異変を感じた場合は早急にバイタルチェックなどを行い、状況に応じ、医師、医療機関に相談、報告を行なっております。		
74 服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。	服薬内容の作用、副作用などを把握し、症状に異常が見られた時は早急に医療機関と連絡をとり安全な生活が行える様努めております。利用者様の薬は職員管理のもと、必要に応じた介助、見守りを徹底しております。		
75 便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけに取り組んでいる。	毎日の排便状況を確認し、その都度、運動や薬の調整を行っております。便秘がちで水分摂取量の少ない方には個別に水分量の観察を行い、必要に応じ乳製品の摂取を勧めるなど便秘改善に向けて取り組んでおります。		
76 口腔内の清潔保持 口の中の汚れやにおいが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている。	毎日、食後は口腔ケアを行い、定期的に歯科往診を受け、指導のもと口腔ケア、嚥下状態の改善に取り組んでおります。		
77 栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。	利用者様と食事を共にしながら観察を行い、一人ひとりの摂取状況を把握し、状況に応じ声かけ、介助を行っております。		
78 感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	感染症予防マニュアルを用意し実行しております。外出時には利用者様、職員、ご家族様にもマスクを装着して頂き、手洗い、うがいの徹底、手指の消毒に努めております。		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
79	<p>食材の管理</p> <p>食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている。</p>	<p>毎日調理器具他の消毒、漂白を行い衛生管理チェック表にて確認、管理を行っております。食品の期限の確認等も毎日確認しております。</p>		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり				
(1) 居心地のよい環境づくり				
80	<p>安心して出入りできる玄関まわりの工夫</p> <p>利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている。</p>	<p>玄関周辺は常に明るく親しみのある環境づくりを心掛けております。ご近所の方にも協力頂き、草刈り、ゴミ拾い、雪かきを行なっております。</p>		
81	<p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>共有空間は季節に応じた装飾を工夫し季節の変わり目を利用者様に感じて頂けるように努めております。</p>		
82	<p>共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中には、一人になれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。</p>	<p>食卓テーブルの席の配置やリビングの空間などの工夫をし、廊下や玄関にベンチを設置し人の気配を感じながらも一人の空間を作れるよう環境づくりに配慮しております。</p>		
83	<p>居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使いなれたものや好みのもを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>ご自宅で使用されていたもので馴染みのあるものは持ってきていただきご家族様と相談しながら配置など工夫しております。</p>		
84	<p>換気・空調の配慮</p> <p>気になるにおいや空気のだよみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないように配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている。</p>	<p>毎日居室の掃除、換気を行い利用者様に合わせた温度調整、湿度調整を行っております。</p>		
(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり				

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
<p>85</p> <p>身体機能を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。</p>	<p>廊下、トイレ、浴室、階段には手擦りを設置し、車椅子を利用されている方にはエレベーターを設置し、バリアフリーの環境を整備し、自立した生活が送れるように工夫し配慮しております。</p>		
<p>86</p> <p>わかる力を活かした環境づくり</p> <p>一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している。</p>	<p>一人ひとりの理解力に応じた対応を心がけており、観察を密に行なう事でご本人様が混乱、失敗することなくさりげなく支援できるよう配慮しております。</p>		
<p>87</p> <p>建物の外回りや空間の活用</p> <p>建物の外回りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている。</p>	<p>ホーム前庭や玄関にはベンチやテーブルを設置し気軽に散歩や休憩を行える様整備しております。又、畑やプランテーションを活用し、野菜や花を育てることで自然と触れ合える環境づくりに取り組んでおります。</p>		

サービスの成果に関する項目	
項目	取り組みの成果
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる <input type="radio"/> ほぼ全ての利用者 <input type="radio"/> 利用者の2 / 3くらい <input type="radio"/> 利用者の1 / 3くらい <input type="radio"/> ほとんど掴んでいない
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある <input type="radio"/> 毎日ある <input type="radio"/> 数日に1回程度ある <input type="radio"/> たまにある <input type="radio"/> ほとんどない
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている <input type="radio"/> ほぼ全ての利用者 <input type="radio"/> 利用者の2 / 3くらい <input type="radio"/> 利用者の1 / 3くらい <input type="radio"/> ほとんどいない
91	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている <input type="radio"/> ほぼ全ての利用者 <input type="radio"/> 利用者の2 / 3くらい <input type="radio"/> 利用者の1 / 3くらい <input type="radio"/> ほとんどいない
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている <input type="radio"/> ほぼ全ての利用者 <input type="radio"/> 利用者の2 / 3くらい <input type="radio"/> 利用者の1 / 3くらい <input type="radio"/> ほとんどいない
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている <input type="radio"/> ほぼ全ての利用者 <input type="radio"/> 利用者の2 / 3くらい <input type="radio"/> 利用者の1 / 3くらい <input type="radio"/> ほとんどいない
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている <input type="radio"/> ほぼ全ての利用者 <input type="radio"/> 利用者の2 / 3くらい <input type="radio"/> 利用者の1 / 3くらい <input type="radio"/> ほとんどいない
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています <input type="radio"/> ほぼ全ての家族 <input type="radio"/> 家族の2 / 3くらい <input type="radio"/> 家族の1 / 3くらい <input type="radio"/> ほとんどできていない

. サービスの成果に関する項目	
項目	取り組みの成果
96 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	<input type="radio"/> ほぼ毎日のように <input checked="" type="radio"/> 数日に1回程度 <input type="radio"/> たまに <input type="radio"/> ほとんどない
97 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている。	<input type="radio"/> 大いに増えている <input checked="" type="radio"/> 少しずつ増えている <input type="radio"/> あまり増えていない <input type="radio"/> 全くない
98 職員は、生き生きと働いている	<input type="radio"/> ほぼ全ての職員が <input checked="" type="radio"/> 職員の2/3くらいが <input type="radio"/> 職員の1/3くらいが <input type="radio"/> ほとんどいない
99 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	<input type="radio"/> ほぼ全ての利用者が <input checked="" type="radio"/> 利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> 利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> ほとんどいない
100 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	<input type="radio"/> ほぼ全ての家族等が <input checked="" type="radio"/> 家族等の2/3くらいが <input type="radio"/> 家族等の1/3くらいが <input type="radio"/> ほとんどいない

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(日々の実践の中で事業所として力を入れて取り組んでいる点・アピールしたい点等を自由記載) 利用者様がその時その時望まれることを臨機応変に対応できるよう日々検討し続けております。